

2025 年度
基 本 資 料



一丸

～挑戦と成長とめぐりあい～



一般社団法人 恵那青年会議所

JCI Creed

The Creed of Junior Chamber International

We Believe;
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
And That service to humanity is the best work of life

我々はかく信じる
信仰は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities that empower young people to create positive change.

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

JC 宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う。

綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

目 次

2025 年度	理事長基本方針	古屋 一郎	4
	理事長所信		5
2025 年度	一般社団法人恵那青年会議所	役員名簿	9
2025 年度	一般社団法人恵那青年会議所	組織構成図	10
2025 年度	一般社団法人恵那青年会議所	年間スケジュール	11
2025 年度	出向者一覧		12
2025 年度	賛助会員名簿		13
2025 年度	副理事長・専務理事	基本方針	14
	副理事長	山本 悠介	14
	副理事長兼専務理事	柄澤 一樹	14
2025 年度	委員会基本方針及び事業計画		15
	未来創造委員会	委員長 越智 俊行	15
	地域の魅力発信委員会	委員長 山田 健人	18
	会員拡大実行委員会	実行委員長 山村 啓太	21
	アカデミー実行委員会	実行委員長 山本 悠介	24
	DC・BC 連携実行委員会	実行委員長 磯村 悠太	27
2025 年度	担当監事割振り表・クラブキャプテン名簿		30
2025 年度	一般社団法人恵那青年会議所	委員会職務分掌	31
2025 年度	正味財産増減補正予算書		32
	一般社団法人恵那青年会議所	歴代理事長	34
	社団法人 恵南青年会議所	歴代理事長	36

2025年度 理事長所信



一般社団法人 恵那青年会議所
2025年度 理事長 古屋 一郎

スローガン

一丸
～挑戦と成長とめぐりあい～

基本方針

- ・「あそぶ」を通じて、楽しい恵那を創造しよう
- ・地域の魅力を発信しよう
- ・JAYCEEとしての軸を鍛えよう
- ・めぐりあいの輪をひろげよう
- ・会員一人ひとりの活動の土台を支える運営
- ・会員一丸となって挑戦しよう

【はじめに】

恵まれた挑戦の機会と、挑戦を通じての成長、そして人とのめぐりあい。これこそが、青年会議所の特徴であると考えます。

青年会議所には多くの挑戦の機会があります。それは、青年会議所が、混沌とした戦後社会を打破するために、若者達が立ち上がり挑戦するところから始まったからです。志ある若者達は、全員が一丸となって困難に挑戦してきました。その中で、様々な仲間達とのめぐりあいがあり、日本においては当初7LOM、48人だった会員は、今や約670LOM、30,000人を超える規模まで成長してきました。

恵那青年会議所も今年で設立から68年目を迎えました。恵那をよくしよう、「明るい豊かな社会」を実現しようと、先輩諸氏が紡いでこられた挑戦の歴史が、今日の恵那の礎を築いています。会社も職種も違う人達が、一丸となって一つの目的のために突き進むエネルギーは、今も昔も決して変わることはありません。一人ではできないことも、一丸となって挑戦すればきっと道は拓けるでしょう。その挑戦の中で、会員達は成長し、多くの仲間とめぐりあうことができ、その挑戦と成長とめぐりあいが、「明るい豊かな社会」の実現へとつながっていきます。

【「あそぶ」を通じて、楽しい恵那を創造しよう】

恵那には恵まれた自然があり、美味しい食文化があり、熱意ある人々がいます。リニア開通も控えている中で非常に恵まれた地域であると言えます。また、恵那市の市政に目を向けてみれば、「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」を四本柱としています。しかし、その中で足りないものがあると私は考えます。それは「楽しむ」、言い換えれば「あそぶ」という部分です。

人は過去の経験の中で、その際に受けた感情に基づいて物事を記憶します。恵那で起きた出来事によって、楽しいという感情を記憶してもらうことができれば、恵那は楽しい街として脳裏に刻まれることになります。

翻って、「あそぶ」という行為は、「楽しい」感情を引き起こすことにつながります。恵那で遊んだ記憶を、多くの人に共有していただくことで、恵那は楽しい町となり、楽しさが伝播して多くの人を巻き込んでいけることになるでしょう。我々は子供達の郷土愛を醸成するためには、子供達だけでなく我々大人達が楽しむ姿を見せることも大切であると学んできました。「明るい豊かな社会」を実現するためには、まず我々大人達が恵那市で率先して楽しむ姿勢を見せていくことが肝心です。恵那の未来が楽しいものとなっていくため、一丸となって「あそぶ」を創造していきましょう。

【地域の魅力を発信しよう】

デジタル社会、情報化社会と言われるようになって、溢れる情報の中から自分達にとって魅力的なものを選ぶ時代となってきました。そうした中において、地域の魅力を多くの人々に受け取ってもらえる発信とはなんなのでしょうか。文字・写真・動画、一口に発信と言っても多くの手段があります。しかしそれらは情報の海の中に漂うプランクトンのような

ものであり、受け手を魚にととるならば、実際に口にしてもらうことが、一番の発信につながると思います。この恵那に来てもらい、直に恵那を楽しんでいただくことこそが、地域の魅力発信の第一歩になると考えます。

恵那青年会議所から始まり、今や恵那を代表するお祭りとなったみのりのみのり祭では、例年約100,000人が来場します。その他にも、恵那には多くの人が訪れる理由となる事業が、たくさん存在しています。百聞は一見に如かずの言葉の通り、実体験ほどダイレクトに心に響くものはありません。まずは恵那に足を運んでもらい、地域の魅力を体験し、その体験を他の人にも伝えたいようになってもらうことで、地域の魅力を発信する人は着実に増えていきます。地域の魅力とは決して表層的なものではなく、体感すれば体感するほどより深みが出てくるものであると考えます。一つの事業を目的として足を運んだ結果、その目的以外の部分に触れる機会とめぐりあい、その結果さらに恵那市の魅力を知ることができる。この好循環を生み出すため、一丸となって取り組んでいきましょう。

【JAYCEEとしての軸を鍛えよう】

昨今、青年会議所全体で在籍年数が少ないまま卒業してしまう会員、役職につく会員が増えてきています。経験が乏しい中で役職につくことは、すべてが悪いことであるとは言えません。先入観なく物事を捉えることができ、新たな視点を組織にもたらすこともあるかもしれません。しかしながら、あくまでも我々はJAYCEEとして、青年会議所の理念のもとに活動しなくてはなりません。

恵那青年会議所においても、在籍年数が5年を超える会員の数が減少してきました。委員として入会し、副委員長を経験し、そこから委員長、さらには副理事長、専務理事、そして行く行くは理事長と、順を追って役職を担い、その活動の中で青年会議所を理解していくのが、理想的な流れであると考えます。しかしながら、昨今の在籍年数が少ない会員が増えていく中で、どうしても順を追った担いというものが難しくなっていることも事実です。

経験の中で得られる学びが難しいのであれば、LOM内における教育が非常に重要になってまいります。その教育の場であるLOM内アカデミーにおいては、最近の通例では現役の会員が講師として新入会員の教育にあたります。組織内における在籍年数の短い会員数の割合が増えていく中で、JAYCEEとしての明確な軸が形成できないまま、アカデミーの担当をする会員が出てきています。今いる会員が、まだ見ぬ新入会員に対して青年会議所の何たるかを教えることができなければ、恵那青年会議所の活動は理念を見失い、軸がぶれたものになってしまいます。だからこそ、今年だけでなく来年、そして再来年以降も今いる会員一人ひとりが、JAYCEEとしての軸、青年会議所の理念を示すことができるようになることが大切になってきます。そのためにも、今一度青年会議所とはどのようなものなのか、どのような理念のもと、どのような活動をしていくべきなのかを、会員全員で学んでいきましょう。

【めぐりあいの輪を広げよう】

一丸となった力は、数が大きくなればより大きな力を発揮できるようになります。青年会議所における挑戦は、決して青年会議所のためのものだけではありません。奉仕の精神のもと、あくまでも「明るい豊かな社会」を実現するために挑戦をするのです。挑戦の中で多くの人達の共感を得、同じ志を持った仲間とめぐりあい、我々の輪に加わってもらい、より大きな挑戦へとつなげていく。輪が大きくなることで、まだ見ぬところにも届き、志を同じくできる仲間ともめぐりあえる。これこそが、恵那青年会議所における会員拡大であると考えます。

現在の会員の中においても、入会のきっかけは様々です。人脈を広げるために自ら率先して入会した人。仕事先や友人などの関係がきっかけで入会した人。しかし、きっかけこそ違っていても、会員同士のめぐりあいや挑戦の経験を得ることで、皆が一丸となり、友情が育まれ仲間となってきました。

増やすことが目的ではない、自分達の挑戦の力とするための拡大を目指してまいります。

【会員一人ひとりの活動の土台を支える運営】

恵那青年会議所の運営は、先輩諸氏の時代から、厳格さをもって行われてきました。しかし、厳格さが頑固さになってはいけません。青年会議所活動に対する会員の価値観も、社会の中における個人の価値観も変わってきている昨今、運営の手法についても時代に適応するために、様々な変革が必要であると考えます。昔から「苦労は買ってでもしろ」という言葉があります。自分の成長のために、必要な苦労ももちろんあることでしょう。しかし、不必要な苦労というものの中には存在しています。かつては理事会運営も紙ベースで行われていましたが、それが時代の流れでペーパーレスとなっていったことが示すように、デジタルの時代となり、アナログなやり方が見直されてきました。一言にデジタルと言っても、多種多様な手法があります。形だけのデジタルではなく、デジタルを使いこなしていくこともまた、時代に沿った進化と言えるでしょう。

会員一人ひとりが、自分の時間を最大限活かして活動していくために、青年会議所活動の運営をアップデートしてまいります。

【会員一丸となって挑戦しよう】

青年会議所は恵那だけではありません。岐阜県内17LOM、東海地区では80LOM、日本全国では671LOMがあり、さらには世界109か国に青年会議所は存在します。それぞれの会議所が、おのが地域の発展のため、様々な事業を展開しています。事業規模、参加人数、運営方法、本当に多種多様な事業が展開されています。もちろん、それぞれの地域によって、背景、目的、手法は異なっています。しかし、それらは必ず青年会議所の理念のもとに構築されています。

共通の理念をもとに構築された事業の中には、恵那青年会議所の活動にも結びつく多くのヒントを孕んでいます。会員一人ひとりが様々な視点でその事業を経験し、紐解いてい

くことで、新しい恵那青年会議所の事業や運営のアップデートにつながっていきます。

会員の中には、まだLOMの中でも友情が育みきれていない会員もいるかもしれません。そんな中でより範囲の広い、ブロックや地区に足を踏み出すのは、躊躇いが生まれるかもしれません。しかし、心配する必要はありません。LOMの会員と同じく、地域が違っていても彼らは青年会議所という共通言語を持った仲間達です。同じ理念と言葉を持った仲間達です。新入会員も、若手会員も、ベテラン会員にも、それぞれに成長やめぐりあい、そして新たな挑戦の機会が待っているのが、青年会議所の事業です。

恵那青年会議所には、これからも大きな挑戦が待ち受けています。これは会員一丸となって立ち向かわなければ、困難な挑戦となることでしょう。しかし、会員一丸となって臨めば、超えた先に大きな成長が待っている挑戦となります。一緒に手を取り合える仲間が増えれば、青年会議所を超えたところでもきっと大きな力となるはずで。会員一人ひとりが成長し、会員一丸となって挑戦できる恵那青年会議所を作っていきます。

【結びに】

私が入会したのは、仕事の関係で恵那青年会議所の行事に参加した時、熱心に誘われたのがきっかけでした。今にして思えば、ここで何かがしたいと思っていたわけでもなく、特に目的もないまま入会したことを記憶しています。

青年会議所の事業に参加する中で、会員達の本気の熱を何度も感じるようになりました。初年度こそ、事業への出席率はよくありませんでしたが、会員の熱に当てられて、次第に積極的に参加するようになりました。

そして自らが事業を構築していく立場になった時、青年会議所活動を甘くみていた自分に気づかされました。構築された事業に招かれる側でなく、招く側として事業を構築していく立場になったのは、初めての挑戦でした。挑戦の中で多くの先輩諸氏に厳しいお言葉をいただきました。人前で涙を流したこともありました。しかし、いざ事業を行う時、会員達は皆一丸となって私を助けてくれました。

地区出向、ブロック出向、様々な挑戦の中で、多くの人達とめぐりあうことができました。傍目には一人の挑戦かもしれませんが、会員一人の挑戦は、それを支える会員全員が一丸となつての挑戦と言えます。

苦しい時もありましたが、JCは楽しいと、今は胸を張って言うことができます。楽しいからこそ、ここまで続けられてきました。恵那青年会議所がこれまで歩んできた道のりも、これから我々が歩いていく道のりも、決して平坦ではありません。もしかしたら、くじけてしまうことがあるかもしれません。しかし、そんな時、一丸となって挑戦すればきっと乗り越えられる自分が見えてくるはずで。

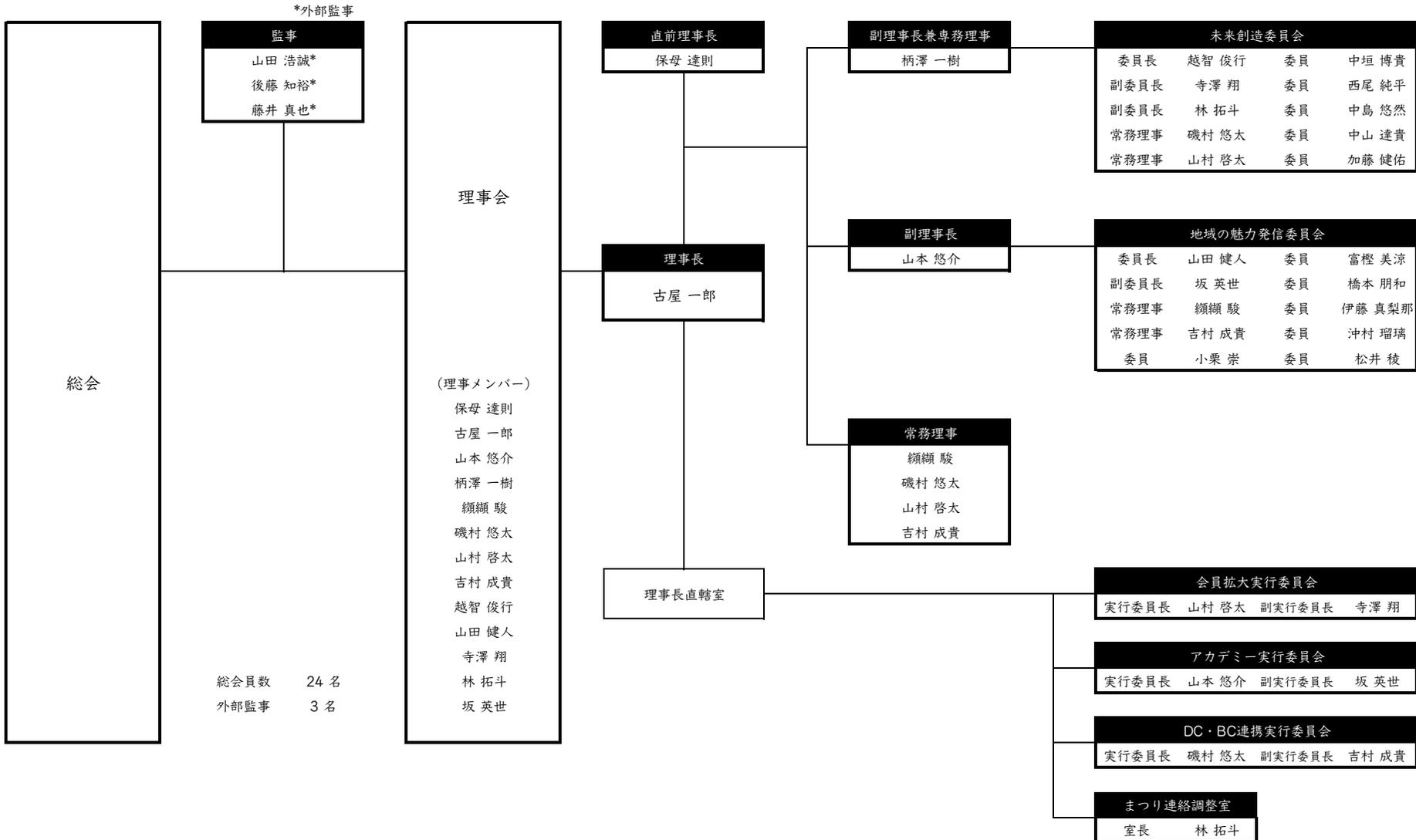
挑戦の成功を皆で分かち合うために、挑戦の道のりを皆で乗り越えていくために、会員一丸となって立ち向かっていきましょう。

2025年度 一般社団法人恵那青年会議所 役員名簿

役 員	氏 名
理事長	古屋 一郎
直前理事長	保母 達則
監事	山田 浩誠
監事	後藤 知裕
監事	藤井 真也
副理事長	山本 悠介
副理事長兼専務理事	柄澤 一樹
常務理事	瀬瀬 駿
常務理事	磯村 悠太
常務理事	山村 啓太
常務理事	吉村 成貴
未来創造委員会 委員長	越智 俊行
未来創造委員会 副委員長	寺澤 翔
未来創造委員会 副委員長	林 拓斗
地域の魅力発信委員会 委員長	山田 健人
地域の魅力発信委員会 副委員長	坂 英世
会員拡大実行委員会 実行委員長	山村 啓太
会員拡大実行委員会 副実行委員長	寺澤 翔
アカデミー実行委員会 実行委員長	山本 悠介
アカデミー実行委員会 副実行委員長	坂 英世
DC・BC連携実行委員会 実行委員長	磯村 悠太
DC・BC連携実行委員会 副実行委員長	吉村 成貴
まつり連絡調整室 室長	林 拓斗

一般社団法人恵那青年会議所 2025年度組織編成図 (順不同/敬称略)

更新日 2024年11月4日



一般社団法人恵那青年会議所 2025年度 年間スケジュール

更新日 2024年11月29日

NOM・DC・BC	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JCI 日本本会	23～ 第1回総会 26 京都会議 (京都)		22 第2回総会 (東京)			12～ JCI ASPAC 15 (ウランバートル)	19～ サマーコンファレンス 20 (横浜) 国際アカデミー			9～ 第3回総会 12 全国大会 (佐賀)	2～ JCI 世界会議 9 (チュニス)	
東海地区 協議会	24 第1回 会員会議所会議 (京都)						5 第2回 会員会議所会議	23 東海コンファレンス (刈谷)			25 第3回 会員会議所会議 (?)	
岐阜ブロック 協議会	31 第1回 会員会議所会議 (岐阜)	1 岐阜会議 (岐阜) 会頭公式訪問	2 第2回 会員会議所会議 (高山)	13 第3回 会員会議所会議 (東濃地区)	24 第4回 会員会議所会議 (中濃地区) BCじゃがいも大会	BCアカデミー		29 第5回 会員会議所会議 (飛騨)	6 岐阜ブロック大会 (飛騨)		15 第6回 会員会議所会議 (恵那)	
例会	1月12日(日)	2月13日(木)	3月10日(月)	4月10日(木)	5月17日(土)	6月10日(火)	7月10日(木)	8月8日(金)	9月6日(土)	10月18日(土)	11月10日(月)	12月6日(土)
未来創造委員会					○						●	
地域の魅力発信委員会							●			○		
会員拡大実行委員会			●									●
アカデミー実行委員会				●								
DC・BC連携実行委員会						●			●			
執行部	●	●						●				
例会及び事業名	通常総会 新年祝賀会	2月度例会 中津川・恵那合同例会	3月度例会 29 東濃会議	4月度例会 LOM内アカデミー	5月度例会 未来創造事業	6月度例会 LOM内アカデミー	7月度例会	臨時総会	9月度例会 岐阜ブロック大会 LOM内アカデミー 27～ みのじのみのり祭 28	10月度例会 地域の魅力発信事業	11月度例会	12月度例会 卒業例会
諸会議	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
常任理事会	12月26日(木)	1月23日(木)	2月20日(木)	3月20日(木)	4月17日(木)	5月15日(木)	6月15日(日)	7月17日(木)	8月21日(木)	9月18日(木)	10月16日(木)	12月15日(月)
(資料配信日)	12月23日(月)	1月20日(月)	2月17日(月)	3月17日(月)	4月14日(月)	5月12日(月)	6月12日(木)	7月14日(月)	8月18日(月)	9月15日(月)	10月13日(月)	12月12日(金)
理事会	1月9日(木)	2月3日(月)	3月3日(月)	4月2日(水)	5月1日(木)	6月2日(月)	7月2日(水)	8月4日(月)	9月2日(火)	10月2日(木)	11月4日(火)	12月23日(火)
(資料配信日)	1月6日(月)	1月31日(金)	2月28日(金)	3月30日(日)	4月28日(月)	5月30日(金)	6月29日(日)	8月1日(金)	8月30日(土)	9月29日(月)	11月1日(土)	12月20日(土)

●・・・例会 ○・・・事業例会 赤字・・・未定

2025 年度 出向者一覧

日本本会 (NOM)		
価値デザイン委員会	委員	瀬瀬 駿
価値デザイン委員会	委員	保母 達則
価値デザイン委員会	委員	山本 悠介
東海地区協議会 (DC)		
防災レジリエンス構築委員会	副委員長	山村 啓太
岐阜ブロック協議会 (BC)		
組織連携推進会議	委員	坂 英世
アカデミー委員会	委員	加藤 健佑
岐阜ブロック大会 2025 実行委員会	委員	松井 稜
事務局	事務局員	瀬瀬 駿
事務局	事務局員	磯村 悠太

2025 年度 賛助会員一覧

1	株式会社デジタ
2	株式会社エナ重機
3	オグリ電子株式会社
4	株式会社東海技研
5	株式会社山本急行
6	西山建設株式会社
7	株式会社銀の森コーポレーション
8	株式会社丸河興業
9	株式会社雅崑組
10	株式会社柘植建設

2025年度 副理事長・専務理事 基本方針

副理事長 山本 悠介

恵那青年会議所が地域から必要とされる団体であり続けるためには、地域の魅力が多くの人に伝わるように、魅力的な活動を継続して行う必要があります。

魅力的な活動は会員一人ひとりが恵那青年会議所の活動に参画し、様々な成長する機会にめぐりあい、挑戦を続けていくことが肝要です。我々は様々な活動を通して恵那青年会議所の仲間、地域の仲間と一緒に挑戦し、「一丸」となって活動を行ってきました。そこで得た経験により自ら考え行動を起こせる人間へと成長します。恵那のことを想いながら活動に参画し、成長できる人財が増えることで、我々は魅力的な活動を継続的に生み出すことができます。

会員一人ひとりがあらゆる挑戦する機会にめぐりあい、地域の一員として成長していくことは、団体としての魅力につながります。そして、その魅力は地域の魅力へとつながります。会員一人ひとりが成長し魅力的な地域を実現するため一年間邁進してまいります。

副理事長兼専務理事 柄澤 一樹

恵那青年会議所の活動に参加することは、恵那をよくしようとする挑戦の輪に加わることであり、その中で超えるべき課題や大切な仲間とのめぐりあいの機会を得て、楽しむ姿を体現することができます。

会員一人ひとりが活動に参加していくことで組織は一丸となり、描く輪はより大きくなっていき、翻って挑戦する個人をしっかりと支えることができるようになります。多様な会員が所属している恵那青年会議所の運営には、個人と組織をしっかりと結ぶことが肝要です。会員の活動への積極的な参画を促すことで、さらなるめぐりあいの機会を生むことにつながり、機会提供を通じた個人と組織双方の成長を可能にしていきます。

一丸となって誰もが挑戦しやすくなる環境の整備と、会員自らが積極的に挑戦したくなるような運営の実施を心がけ、厳格さの中にも柔軟性を備えた恵那青年会議所を目指し、取り組んでまいります。

2025年度 委員会基本方針及び事業計画

未来創造委員会 委員長 越智 俊行

恵那の未来を創造するためには、次世代の人々が楽しみながら交流を深め、楽しいという感情を抱いてもらうことが重要です。この体験を「あそぶ」と捉え、参加者同士が楽しさを共有することで、その楽しさが周囲に伝播し、その過程で地域全体の絆が強化され、さらに多くの人々を巻き込むことができます。この「あそぶ」を積み重ねることが、未来に向けた基盤を築くために大切です。会員一人ひとりが率先して楽しみながら「あそぶ」機会を提供していきます。

また、青年会議所が持続可能であり続けるためには、時代の変化に適応し、進化し続けることが重要です。そのためには、会員一人ひとりが組織運営について広く理解を持ち、協力して運営に取り組むことが望ましいと考えます。こうした取り組みを通じて、新たな方法を取り入れ、円滑な総務・財務運営を実現します。

これらの活動を通じ、恵那と青年会議所の楽しい未来をともに創るべく邁進してまいります。

【事業開催計画】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
5月度例会 (事業)	5月17日 (土曜日)	恵那市内	次世代の人々と交流を深めることを目的とする。	290,000
11月度例会	11月10日 (月曜日)	恵那市内	事務局運営について学び、円滑な運営について考えることを目的とする。	10,000
情報発信 運用計画	通年	各所	様々な手法を用いて、青年会議所の存在を対外に認知・共感いただく機会づくりを目的とする。	0
事業費合計				300,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月26日 (火曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会基本方針について 職務分掌について

			年間スケジュールについて 通常総会・新年祝賀会について
第2回予定者委員会	12月17日 (火曜日)	恵那市内	委員会内役割分担について 通常総会・新年祝賀会について 京都会議について 会員拡大について
第1回委員会	1月7日 (火曜日)	恵那市内	2月度例会について 京都会議について 岐阜会議について 会員拡大について 情報発信について
第2回委員会	2月10日 (月曜日)	恵那市内	2月度例会について 3月度例会について 5月度例会について LOM内アカデミーについて 会員拡大について 情報発信について
第3回委員会	3月7日 (金曜日)	恵那市内	3月度例会について 4月度例会について 5月度例会について 東濃会議について 会員拡大について 情報発信について
第4回委員会	4月7日 (月曜日)	恵那市内	4月度例会について 5月度例会について 会員拡大について 情報発信について
第5回委員会	5月12日 (月曜日)	恵那市内	5月度例会について 6月度例会について LOM内アカデミーについて 会員拡大について 情報発信について
第6回委員会	6月5日 (木曜日)	恵那市内	5月度例会決算について 6月度例会について 7月度例会について サマーコンファレンスについて 会員拡大について 情報発信について

第7回委員会	7月7日 (月曜日)	恵那市内	7月度例会について 臨時総会について 東海コンファレンスについて 会員拡大について 情報発信について
第8回委員会	8月5日 (火曜日)	恵那市内	臨時総会について 9月度例会について LOM内アカデミーについて みのじのみり祭について 岐阜ブロック大会について 会員拡大について 情報発信について
第9回委員会	9月1日 (月曜日)	恵那市内	9月度例会について 10月度例会について 11月度例会について みのじのみり祭について 全国大会について 会員拡大について 情報発信について
第10回委員会	10月7日 (火曜日)	恵那市内	10月度例会について 11月度例会について 12月度例会について 会員拡大について 情報発信について
第11回委員会	11月5日 (水曜日)	恵那市内	11月度例会について 12月度例会について 会員拡大について 情報発信について
第12回委員会	12月2日 (火曜日)	恵那市内	12月度例会について 2025年度総括・引継について 会員拡大について 情報発信について

地域の魅力が多くの人に伝播するためには、体験を通して魅力を感じてもらうことが、なによりも大切です。

我々も含め実際に訪れることで、初めて触れる魅力や、改めて認識する魅力もあります。また、それらの実体験から楽しい、面白いなどの好意的な感情が生まれ、周りの人に伝わっていくことで、受け取った人は「行きたい」と共感することができます。共感する人が多ければ多いほど、やがては大きな発信力となり、恵那に行ってみたいと思う人や、何度も訪れ新たな魅力を開拓したいと思う人が増えていきます。多くの人が体験した魅力は、地域を限定することなく伝播し続けていきます。この好循環によって、恵那はより多くの人に愛される魅力的な地域になります。

恵那の「明るい豊かな社会」を実現していくために、我々青年会議所が起点となり多くの人が地域の魅力を感じられる機会を創出してまいります。

【事業開催計画】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
7月度例会	7月10日 (水曜日)	恵那市内	地域の魅力に触れ理解を深めることを目的とする。	10,000
10月度例会 (事業)	10月18日 (土曜日)	恵那市内	多くの人に地域の魅力を体験してもらうことを目的とする。	290,000
事業費合計				300,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月27日 (水曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会活動方針について 職務分掌について 年間スケジュールについて 通常総会・新年祝賀会について
第2回予定者委員会	12月11日 (水曜日)	恵那市内	委員会活動方針について 通常総会・新年祝賀会について 京都会議について 会員拡大について

第1回委員会	1月8日 (水曜日)	恵那市内	2月度例会について 3月度例会について 京都会議について 岐阜会議について 会員拡大について
第2回委員会	2月6日 (木曜日)	恵那市内	2月度例会について 3月度例会について 4月度例会について 会員拡大について
第3回委員会	3月6日 (木曜日)	恵那市内	3月度例会について 4月度例会について 5月度例会について 東濃会議について 会員拡大について
第4回委員会	4月4日 (金曜日)	恵那市内	4月度例会について 5月度例会について 6月度例会について 会員拡大について
第5回委員会	5月7日 (水曜日)	恵那市内	5月度例会について 6月度例会について 7月度例会について 会員拡大について
第6回委員会	6月6日 (金曜日)	恵那市内	6月度例会について 7月度例会について 臨時総会について サマーコンファレンスについて 会員拡大について
第7回委員会	7月4日 (金曜日)	恵那市内	7月度例会について 臨時総会について 9月度例会について 東海コンファレンスについて 会員拡大について
第8回委員会	8月13日 (水曜日)	恵那市内	9月度例会について 10月度例会について 岐阜ブロック大会について 会員拡大について

第9回委員会	9月10日 (水曜日)	恵那市内	9月度例会について 10月度例会について 11月度例会について みのじのみのり祭について 全国大会について 会員拡大について
第10回委員会	10月10日 (金曜日)	恵那市内	10月度例会について 11月度例会について 12月度例会について 会員拡大について
第11回委員会	11月7日 (金曜日)	恵那市内	11月度例会について 12月度例会について 会員拡大について
第12回委員会	12月12日 (金曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大について

恵那青年会議所が設立されて68年、先輩諸氏の恵那市をよりよくしたいという想いは今日まで受け継がれてきました。私達はその想いを次代に引き継いでいくことが使命であると考えます。そのためには、私達の想いに共感する仲間の輪を絶えず広げていくことが必要です。

私達は「明るい豊かな社会」の実現のために常に挑戦を続けてきました。一丸となって挑戦する姿はとても魅力的で輝いて見えます。そしてより魅力的な組織になることでおのずと人が集まります。

私達の魅力を発信し、共感してくれる多くの仲間とのめぐりあいをきっかけに未来へ向けて前進する。そんな拡大運動を実施します。

会員が同じ志を持つ仲間との出会いに心躍らせる。そして想いを共有し一丸となって挑戦することで、より大きな挑戦へとつなげていく。本年度の拡大運動が恵那青年会議所の挑戦の力となり、ひいては恵那市をよくするきっかけになると確信して活動を展開してまいります。

【事業開催計画】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
3月度例会	3月10日 (月曜日)	恵那市内	新たな仲間とのめぐりあいのきっかけを創造することを目的とする。	10,000
12月度例会	12月6日 (土曜日)	恵那市内	卒業生の想いを引き継ぎ、送り出すことを目的とする。	140,000
交流会	2・4・6・7・ 9・11月	恵那市内	交流を通じて恵那青年会議所に興味を持っていただくことを目的とする。	0
事業費合計				150,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月26日 (火曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会活動方針について 職務分掌について 年間スケジュールについて 通常総会・新年祝賀会について

			会員拡大について
第2回予定者委員会	12月17日 (火曜日)	恵那市内	委員会活動方針について 通常総会・新年祝賀会について 京都会議について 会員拡大について
第1回委員会	1月7日 (火曜日)	恵那市内	2月度例会について 京都会議について 岐阜会議について 会員拡大について
第2回委員会	2月10日 (月曜日)	恵那市内	2月度例会について 3月度例会について 4月度例会について 会員拡大について
第3回委員会	3月7日 (金曜日)	恵那市内	3月度例会について 4月度例会について 5月度例会について 東濃会議について 会員拡大について
第4回委員会	4月7日 (月曜日)	恵那市内	3月度例会の反省 4月度例会について 5月度例会について 6月度例会について 会員拡大について
第5回委員会	5月12日 (月曜日)	恵那市内	5月度例会について 6月度例会について 7月度例会について 会員拡大について
第6回委員会	6月5日 (木曜日)	恵那市内	6月度例会について 7月度例会について 臨時総会について サマーコンファレンスについて 会員拡大について
第7回委員会	7月7日 (月曜日)	恵那市内	7月度例会について 臨時総会について 9月度例会について 東海コンファレンスについて 会員拡大について

第8回委員会	8月5日 (火曜日)	恵那市内	臨時総会について 9月度例会について 10月度例会について 岐阜ブロック大会について 会員拡大について
第9回委員会	9月1日 (月曜日)	恵那市内	9月度例会について 10月度例会について 11月度例会について みのじのみりのり祭について 全国大会について 会員拡大について
第10回委員会	10月7日 (火曜日)	恵那市内	10月度例会について 11月度例会について 12月度例会について 会員拡大について
第11回委員会	11月5日 (水曜日)	恵那市内	11月度例会について 12月度例会について 会員拡大について
第12回委員会	12月2日 (火曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大について

我々は同じ方向を向き活動を行うことで地域が抱える課題を解決し、理想として掲げる「明るい豊かな社会」の実現を目指してきました。会員がその理想に共感し、自身の中で活動に参画する目的を明確にすることは、より良い活動を展開していくことにつながります。

しかし、近年では会員の平均在籍年数は短くなり、段階的に達成すべき理想について学ぶことが難しくなっています。理解が深まらないまま活動すると、目的がぶれてしまい理想の実現から遠ざかって行ってしまいます。だからこそ、在籍年数の長さに関わらず会員一人ひとりが活動の目的を理解し共感することが大切です。

我々が大切にしている理想を土台とし、自ら考え活動を展開し、目的の達成に向けて行動することができ、仲間を導くことができる JAYCEE。そんな次代を担える人財を、アカデミーの開催を通じて育成してまいります。

【事業開催計画】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
4 月度例会	4 月 10 日 (木曜日)	恵那市内	会員一人ひとりが JAYCEE の理想を理解し、共感することを目的とする。	50,000
LOM 内 アカデミー	4・6・9 月	恵那市内	JAYCEE としての基礎知識を学ぶことを目的とする。	0
事業費合計				50,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第 1 回予定者委員会	11 月 27 日 (水曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会活動方針について 職務分掌について 年間スケジュールについて 通常総会・新年祝賀会について
第 2 回予定者委員会	12 月 11 日 (水曜日)	恵那市内	委員会活動方針について 通常総会・新年祝賀会について 京都会議について 会員拡大について
第 1 回委員会	1 月 8 日 (水曜日)	恵那市内	2 月度例会について 3 月度例会について 京都会議について

			岐阜会議について 会員拡大について
第2回委員会	2月6日 (木曜日)	恵那市内	2月度例会について 3月度例会について 4月度例会について 会員拡大について
第3回委員会	3月6日 (木曜日)	恵那市内	3月度例会について 4月度例会について 5月度例会について 東濃会議について 会員拡大について
第4回委員会	4月4日 (金曜日)	恵那市内	4月度例会について 5月度例会について 6月度例会について 会員拡大について
第5回委員会	5月7日 (水曜日)	恵那市内	5月度例会について 6月度例会について 7月度例会について 会員拡大について
第6回委員会	6月6日 (金曜日)	恵那市内	6月度例会について 7月度例会について 臨時総会について サマーコンファレンスについて 会員拡大について
第7回委員会	7月4日 (金曜日)	恵那市内	7月度例会について 臨時総会について 9月度例会について 東海コンファレンスについて 会員拡大について
第8回委員会	8月13日 (水曜日)	恵那市内	9月度例会について 10月度例会について 岐阜ブロック大会について 会員拡大について
第9回委員会	9月10日 (水曜日)	恵那市内	10月度例会について 11月度例会について みのじのみのり祭について 全国大会について 会員拡大について

第10回委員会	10月10日 (金曜日)	恵那市内	10月度例会について 11月度例会について 12月度例会について 会員拡大について
第11回委員会	11月7日 (金曜日)	恵那市内	11月度例会について 12月度例会について 会員拡大について
第12回委員会	12月12日 (金曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大運動について

青年会議所活動は、全世界でそれぞれの地域の発展のために事業が展開されています。その中で東海地区協議会や岐阜ブロック協議会も同じように活動が行われていますが、どのような取り組みをしているのかわからないなどの理由から、出向や事業への参加をためらってしまうという現状があります。そこで各協議会ではどのような取り組みをし、事業を展開しているのかを学ぶことで青年会議所活動の視野が広がり、LOM 以外の事業への参加など新しい挑戦への意欲を養うことができます。

各協議会では青年会議所の同志が多く携わり活躍しています。活動を肌で感じることで、新たな刺激やめぐりあい、成長のヒントを持ち帰ることができます。このように貴重な時間を会員に経験していただき、広く活動への意欲を高めます。

これらの活動を通じ、会員一人ひとりが青年会議所活動に積極的に挑戦できるように取り組んでまいります。

【事業開催計画】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
6 月度例会	6 月 10 日 (火曜日)	恵那市内	東海地区協議会や岐阜ブロック協議会の活動について学ぶことを目的とする。	10,000
9 月度例会	9 月 6 日 (土曜日)	岐阜県内	青年会議所活動の理解を深めることで新しい挑戦を行う意欲を養うことを目的とする。	90,000
事業費合計				100,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第 1 回予定者委員会	11 月 26 日 (火曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会活動方針について 地区・ブロック協議会について 職務分掌について 年間スケジュールについて 通常総会・新年祝賀会について
第 2 回予定者委員会	12 月 17 日 (火曜日)	恵那市内	委員会活動方針について 地区・ブロック協議会について 通常総会・新年祝賀会について 京都会議について

第1回委員会	1月7日 (火曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 2月度例会について 京都会議について 岐阜会議について
第2回委員会	2月10日 (月曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 2月度例会について 3月度例会について 4月度例会について
第3回委員会	3月7日 (金曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 3月度例会について 4月度例会について 5月度例会について 東濃会議について
第4回委員会	4月7日 (月曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 4月度例会について 5月度例会について 6月度例会について
第5回委員会	5月12日 (月曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 5月度例会について 6月度例会について 7月度例会について
第6回委員会	6月5日 (木曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 6月度例会について 7月度例会について 臨時総会について サマーコンファレンスについて
第7回委員会	7月7日 (月曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 7月度例会について 臨時総会について 9月度例会について 東海コンファレンスについて
第8回委員会	8月5日 (火曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 臨時総会について 9月度例会について 岐阜ブロック大会について
第9回委員会	9月1日 (月曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 9月度例会について 10月度例会について

			11月度例会について みのじのみ祭りについて 全国大会について
第10回委員会	10月7日 (火曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 10月度例会について 11月度例会について 12月度例会について
第11回委員会	11月5日 (水曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 11月度例会について 12月度例会について
第12回委員会	12月2日 (火曜日)	恵那市内	地区・ブロック協議会について 12月度例会について

担当監事割振り表

監 事 山田 浩誠 (1) 未来創造委員会 (2) アカデミー実行委員会
監 事 後藤 知裕 (1) 執行部 (2) DC・BC 連携実行委員会
監 事 藤井 真也 (1) 地域の魅力発信委員会 (2) 会員拡大実行委員会

クラブキャプテン名簿

サッカー	橋本 朋和
野 球	西尾 純平
じゃがいも	中島 悠然

一般社団法人恵那青年会議所 2025 年度委員会職務分掌

1. 未来創造委員会

- (1) 未来創造事業の実施
- (2) 諸会議の設営、運営、庶務（財務、コンプライアンス審査含む）
- (3) 諸会議における会議資料の作成、チェック及び取りまとめ
- (4) （一社）恵那青年会議所の広報記録活動
- (5) （一社）恵那青年会議所の総務及び財務に関する一切
- (6) 会員拡大運動の実施
- (7) （一社）恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (8) その他

2. 地域の魅力発信委員会

- (1) 地域の魅力発信事業の実施
- (2) 会員拡大運動の実施
- (3) （一社）恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (4) その他

3. 執行部

- (1) 総会の開催
- (2) 理事長直轄室の支援
- (3) 基本資料の作成
- (4) 会員拡大運動の実施
- (5) （一社）恵那青年会議所の運営に関する一切
- (6) 日本本会・東海地区協議会・岐阜ブロック協議会との連絡調整
- (7) その他

4. 会員拡大実行委員会

- (1) 会員拡大運動の企画・推進及び実施
- (2) 卒業例会の開催
- (3) （一社）恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (4) その他

5. アカデミー実行委員会

- (1) LOM 内アカデミーの開催
- (2) （一社）恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (3) その他

6. DC・BC 連携実行委員会

- (1) 東海地区協議会との連携
- (2) 岐阜ブロック協議会事業との連携
- (3) （一社）恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (4) その他

7. まつり連絡調整室

- (1) みのじのみのり祭実行委員会との連携・連絡・運営の一切
- (2) その他

一般社団法人恵那青年会議所 正味財産増減予算書

2025年1月1日から2025年12月31日まで

科目名	2025年度予算	2024年度 第二次補正予算	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
I 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①特定資産運用益	0	0	0	
特定資産利息	(0)	(0)	(0)	
②受取会費	3,390,000	3,500,000	△ 110,000	
正会員会費	2,760,000	2,810,000	△ 50,000	
基本金	2,760,000	2,520,000	240,000	120,000×23名
新入会員 ()	(0)	120,000	△ 120,000	
新入会員 ()	(0)	120,000	△ 120,000	
新入会員 ()	(0)	120,000	△ 120,000	
その他	(0)	△ 70,000	70,000	期中での入退会などによる調整
準会員会費	240,000	240,000	(0)	120,000×2名
特別会員会費	90,000	90,000	(0)	30,000×3名(2024年度卒業生)
賛助会員会費	300,000	360,000	△ 60,000	
個人	(0)	(0)	(0)	10,000×0名(2025年度期首)
法人	300,000	360,000	△ 60,000	30,000×10名(2025年度期首)
③事業収益	0	0	0	
事業繰入収益	(0)	(0)	(0)	
登録料収益	(0)	(0)	(0)	
懇親会収益	(0)	(0)	(0)	
広告料収益	(0)	(0)	(0)	
販売収益	(0)	(0)	(0)	
預り金収益	(0)	(0)	(0)	
雑収益	(0)	(0)	(0)	JCIカード/スマイル
④受取補助金等	0	2,562,000	△ 2,562,000	
国庫補助金	(0)	(0)	(0)	
地方公共団体補助金	(0)	(0)	(0)	
補助金等交付業務受託金	(0)	(0)	(0)	
国庫助成金	(0)	(0)	(0)	
地方公共団体助成金	(0)	2,300,000	△ 2,300,000	恵那市助成金(栗フェス)
民間助成金	(0)	262,000	△ 262,000	OB会事務手数料
⑤受取負担金	0	0	0	
受取負担金	(0)	(0)	(0)	
⑥受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	(0)	(0)	(0)	
受取募金	(0)	(0)	(0)	
⑦雑収益	0	0	0	
受取利息収益	(0)	(0)	(0)	
その他雑収益	(0)	(0)	(0)	
⑧他会計からの繰入金	0	0	0	
日本JC本体会計からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
地区・ブロック協議会からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
他会計からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
経常収益計	3,390,000	6,062,000	△ 2,672,000	
(2) 経常費用				
①事業費	990,000	3,805,280	△ 2,815,280	
2025年度事業費	990,000	0	990,000	
執行部	(90,000)	(0)	90,000	中津川恵那合同例会・東濃会議
未来創造委員会	300,000	(0)	300,000	
地域の魅力発信委員会	300,000	(0)	300,000	
会員拡大実行委員会	150,000	(0)	150,000	卒業例会
アカデミー実行委員会	50,000	(0)	50,000	4月度例会
DC・BC連携実行委員会	100,000	(0)	100,000	6・9月度例会
2024年度事業費	0	3,805,280	△ 3,805,280	
執行部	(0)	93,280	△ 93,280	
地域デザイン委員会	(0)	3,012,000	△ 3,012,000	市助成金、OB会
青少年教育委員会	(0)	450,000	△ 450,000	
事務局	(0)	250,000	△ 250,000	卒業例会
会員拡大・アカデミー実行委員会	(0)	(0)	(0)	
委員会運営費	(0)	(0)	(0)	
事業予備費	(0)	(0)	(0)	
②管理費	1,333,000	1,486,000	△ 153,000	
会議費	(0)	(0)	(0)	
給料手当	(0)	(0)	(0)	
俸給	(0)	(0)	(0)	
手当	(0)	(0)	(0)	
臨時雇用賃金	(0)	(0)	(0)	
退職給付手当	(0)	(0)	(0)	
福利厚生費	(0)	(0)	(0)	
法定福利費	(0)	(0)	(0)	
福利費	(0)	(0)	(0)	
厚生費	(0)	(0)	(0)	
旅費交通費	30,000	180,000	△ 150,000	各種大会レンタカー・ガソリン代補助
通信運搬費	160,000	170,000	△ 10,000	
電話代	80,000	80,000	(0)	
運搬代	(0)	(0)	(0)	
Webサービス利用料	30,000	(0)	30,000	Google Workspace Individual、Notta
その他通信費	50,000	90,000	△ 40,000	十六銀行データ通信費、オンラインFAX、電報
減価償却費	(0)	(0)	(0)	
図書・研修費	(0)	(0)	(0)	
消耗品費	30,000	30,000	(0)	LOMスローガン、事務用品
リース料	(0)	(0)	(0)	
修繕費	(0)	(0)	(0)	
印刷製本費	(0)	(0)	(0)	
光熱水料	(0)	(0)	(0)	
賃借料	726,000	726,000	(0)	賃料55,000×12ヶ月 共益費5,500×12ヶ月
業務委託費	200,000	155,000	45,000	ホームページ管理、法人変更登記
保険料	(0)	(0)	(0)	
租税公課	22,000	30,000	△ 8,000	
固定資産税	(0)	(0)	(0)	
その他の租税公課	22,000	30,000	△ 8,000	法人県民税
広告宣伝費	(0)	(0)	(0)	
渉外費	100,000	100,000	(0)	慶弔費・渉外費
支払手数料	30,000	30,000	(0)	
雑費	30,000	60,000	△ 30,000	理事長記念品費等

科目名	2025年度予算	2024年度 第二次補正予算	増減	備考
管理・運営予備費	(5,000)	(5,000)	(0)	
③負担金	1,030,530	762,830	267,700	
日本JC会費 JCI会費	(54,080)	(67,080)	△ 13,000	2,080 (US\$13×¥160) ×26名
日本JC会費 基本金	(30,000)	(30,000)	(0)	50名まで 25名増加毎+15,000
日本JC会費 附加金	(130,000)	(150,000)	△ 20,000	5,000×26名
日本JC会費 JC会館建替協力金	(39,000)	(0)	39,000	1,500×26名
WE BELIEVE 購読料	(39,000)	(90,000)	△ 51,000	1,500×26名
日本じゃがいもクラブ	(20,000)	(20,000)	(0)	
日本JC国際協力資金	(47,450)	(54,750)	△ 7,300	365×5×26名
京都会議LOM登録料	(8,000)	(8,000)	(0)	
東海地区協議会 基本金負担金	(65,000)	(75,000)	△ 10,000	2,500×26名
岐阜ブロック会費 基本額	(18,000)	(18,000)	(0)	
岐阜ブロック会員 附加金	(130,000)	(90,000)	40,000	5,000×26名
岐阜ブロック会費 役員負担金	(0)	(0)	(0)	
岐阜ブロック会員 大会負担金	(65,000)	(75,000)	△ 10,000	2,500×26名
岐阜ブロック野球大会登録料	(20,000)	(20,000)	(0)	
岐阜ブロックサッカー大会登録料	(25,000)	(25,000)	(0)	
岐阜ブロックじゃがいも大会登録料	(10,000)	(10,000)	(0)	
中山道駅伝	(10,000)	(10,000)	(0)	
恵那市国際交流協会	(20,000)	(20,000)	(0)	
出向者への支援金	(0)	(0)	(0)	委員長以上の場合に支給
70周年記念事業への積立金	(300,000)	(0)	300,000	
④他会計への繰入金	0	0	0	
日本JC本体会計への繰入金	(0)	(0)	(0)	
地区・ブロック協議会への繰入金	(0)	(0)	(0)	
消費税負担金	(0)	(0)	(0)	
外部監査負担金	(0)	(0)	(0)	
会計ソフト負担金	(0)	(0)	(0)	
その他繰入金	(0)	(0)	(0)	
経常費用計	3,353,530	6,054,110	△ 2,700,580	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	36,470	7,890	28,580	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
①固定資産売却益	0	0	0	
建物売却益	(0)	(0)	(0)	
構築物売却益	(0)	(0)	(0)	
什器備品売却益	(0)	(0)	(0)	
②固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
①固定資産売却損	0	0	0	
②固定資産除却損	0	0	0	
什器備品除却損	(0)	(0)	(0)	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	36,470	7,890	28,580	
一般正味財産期首残高	2,715,326	2,707,436	7,890	
一般正味財産期末残高	2,751,796	2,715,326	36,470	
II 指定正味財産増減の部				
①固定資産受贈益	0	0	0	
②基本財産評価益	0	0	0	
③特定資産評価益	0	0	0	
④基本財産評価損	0	0	0	
⑤特定資産評価損	0	0	0	
⑥一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,751,796	2,715,326	36,470	

2025年度期末残高（見通し）

(2024年度第2次補正時)

正味財産期末残高（内訳）	一般会計	569,297
	事業費予備費	0
	周年準備金	2,438,139
	合計	2,707,436

*貸借対照表 資産の部 参照

一般社団法人恵那青年会議所 歴代理事長

創立年月日 昭和 33 年 5 月 10 日 認定番号第 145 号

スポンサーJC 一般社団法人中津川青年会議所

初	代理事長	昭和 33 年	中神 友彦	(株)丸河興業
二	代理事長	昭和 34 年	中神 友彦	(株)丸河興業
三	代理事長	昭和 35 年	中神 友彦	(株)丸河興業
四	代理事長	昭和 36 年	安藤 健一	(株)土田屋呉服店
五	代理事長	昭和 37 年	安藤 健一	(株)土田屋呉服店
六	代理事長	昭和 38 年	古田 忠好	
七	代理事長	昭和 39 年	阿部 龍輔	セントラル建設(株)
八	代理事長	昭和 40 年	中山銀次郎	東濃魚菜(株)
九	代理事長	昭和 41 年	鈴木銀之助	カクト本店
十	代理事長	昭和 42 年	三島 充	
十一	代理事長	昭和 43 年	松井 栄一	(株)菊水堂
十二	代理事長	昭和 44 年	山田 基	(株)マル五鐵構
十三	代理事長	昭和 45 年	近藤 時夫	近藤電気工業(株)
十四	代理事長	昭和 46 年	小嶋 洋平	(有)菊屋
十五	代理事長	昭和 47 年	熊崎 健一	
十六	代理事長	昭和 48 年	荒川 昇	
十七	代理事長	昭和 49 年	中山 義幸	
十八	代理事長	昭和 50 年	丸山 朝夫	(株)マルヤ
十九	代理事長	昭和 51 年	永屋 俊幸	(有)フジ
二十	代理事長	昭和 52 年	原 謙司	
二十一	代理事長	昭和 53 年	市川 賛平	恵那醸造(株)
二十二	代理事長	昭和 54 年	安藤 和雄	(有)賀藤
二十三	代理事長	昭和 55 年	佐藤 忠男	大東京火災海上保険代理店
二十四	代理事長	昭和 56 年	加藤 孝長	ヤマトヤ
二十五	代理事長	昭和 57 年	青山 貫禅	(株)青山
二十六	代理事長	昭和 58 年	小澤 隆徳	ダスキン恵那
二十七	代理事長	昭和 59 年	舘林 正孝	(株)舘林
二十八	代理事長	昭和 60 年	田中 義人	東海新栄電子工業(株)
二十九	代理事長	昭和 61 年	木頭 修	(株)中建
三十	代理事長	昭和 62 年	市川 康夫	市川康夫会計事務所
三十一	代理事長	昭和 63 年	山本 恵嗣	山本石油(株)
三十二	代理事長	平成元年	岩本 哲臣	(株)岩本
三十三	代理事長	平成 2 年	市川 雅敏	中部観光(株)
三十四	代理事長	平成 3 年	金子 一弘	金子建築工業(株)
三十五	代理事長	平成 4 年	西山 昌幸	西山建設(株)
三十六	代理事長	平成 5 年	阿部伸一郎	セントラル建設(株)
三十七	代理事長	平成 6 年	可知 照章	(株)エミ
三十八	代理事長	平成 7 年	岩井 慶次	(有)cetwave.com
三十九	代理事長	平成 8 年	水野 勝	
四十	代理事長	平成 9 年	阿部 護	セントラル建設(株)
四十一	代理事長	平成 10 年	柘植 孝彦	(有)柘植建設
四十二	代理事長	平成 11 年	小林 稔	(有)清進堂
四十三	代理事長	平成 12 年	脇田 誠	(有)ベスト飲料

四十四	代理事長	平成13年	小林 浩司	(株)リード
四十五	代理事長	平成14年	丸山大八郎	(株)マルヤ
四十六	代理事長	平成15年	高木 應浩	東栄製紙工業(株)
四十七	代理事長	平成16年	山内 敏敬	(有)ヤマウチ
四十八	代理事長	平成17年	有賀 正典	
四十九	代理事長	平成18年	大野 幸泰	(株)大野工機
五十	代理事長	平成19年	木下 晃一	(有)木下建材工業
五十一	代理事長	平成20年	篠田 大作	(有)シノダック
五十二	代理事長	平成21年	渡辺 好作	(株)銀しゃり本舗
五十三	代理事長	平成22年	安藤 潤也	安藤鉄工(株)
五十四	代理事長	平成23年	板頭 拓志	ミリオン電工(株)
五十五	代理事長	平成24年	加藤 規久	(株)東海技研
五十六	代理事長	平成25年	吉村 将明	吉村産業(株)
五十七	代理事長	平成26年	河原 三次	(株)丸河興業
五十八	代理事長	平成27年	田口 勝一	(株)エナ重機
五十九	代理事長	平成28年	山本 英史	(株)山本急行
六十	代理事長	平成29年	市川 直樹	中部観光(株)
六十一	代理事長	平成30年	西山 陽祐	西山建設(株)
六十二	代理事長	平成31年	藤下 卓己	(株)デジタ
六十三	代理事長	令和2年	小栗 康裕	オグリ電子(株)
六十四	代理事長	令和3年	後藤 知裕	(株)ごとう観光
六十五	代理事長	令和4年	藤井 真也	(同)おひさま
六十六	代理事長	令和5年	越智 信行	(有)恵那冷機
六十七	代理事長	令和6年	保母 達則	(株)アイギハウジング
六十八	代理事長	令和7年	古屋 一郎	衆議院議員古屋圭司事務所

社団法人恵南青年会議所 歴代理事長

創立年月日 昭和 39 年 3 月 29 日 認定番号第 286 号

初	代理事長	昭和 40 年	松井 高志	(株)丸ス松井材木店
二	代理事長	昭和 41 年	松井 高志	(株)丸ス松井材木店
三	代理事長	昭和 42 年	横田 隆司	明知製陶(株)
四	代理事長	昭和 43 年	加藤 稔	(株)加藤材木店
五	代理事長	昭和 44 年	味岡蓮太郎	
六	代理事長	昭和 45 年	川村 達也	川村工務店
七	代理事長	昭和 46 年	梅村 哲郎	明知製陶(株)
八	代理事長	昭和 47 年	成瀬 郁夫	成瀬電気商会
九	代理事長	昭和 48 年	和田 光男	明智鋳業(株)
十	代理事長	昭和 49 年	横田 晴彦	(有)エーピーエフ
十一	代理事長	昭和 50 年	平林 利一	明栄建設工業(株)
十二	代理事長	昭和 51 年	奥田 隆一	オクダ時計店
十三	代理事長	昭和 52 年	三宅 均	(株)ヤマサ三宅材木店
十四	代理事長	昭和 53 年	西尾 和郎	丸上寒天産業(株)
十五	代理事長	昭和 54 年	松井 真	(株)丸ス松井材木店
十六	代理事長	昭和 55 年	小木曾琢二	マルコ醸造(株)
十七	代理事長	昭和 56 年	成瀬 恭平	高成化学鋳業(有)
十八	代理事長	昭和 57 年	吉村 典男	吉村産業(株)
十九	代理事長	昭和 58 年	春日井正章	山平鋳業(株)
二十	代理事長	昭和 59 年	伊藤 敏一	伊藤繁一商店
二十一	代理事長	昭和 60 年	遠山 哲雄	遠山材木店
二十二	代理事長	昭和 61 年	加藤 正波	丸美礦業(株)
二十三	代理事長	昭和 62 年	味岡 真治	アジオカ電気店
二十四	代理事長	昭和 63 年	伊藤 誠紀	(株)伊藤商会
二十五	代理事長	平成元年	堀 泰明	(有)明智給油所
二十六	代理事長	平成 2 年	水野 良則	(有)銭坂畜産
二十七	代理事長	平成 3 年	伊藤 辰也	とうふのつねさ
二十八	代理事長	平成 4 年	三宅 秀明	三宅畳店
二十九	代理事長	平成 5 年	西尾 修欣	ライフエナジー山岡(株)
三十	代理事長	平成 6 年	桜井 義等	朝日屋
三十一	代理事長	平成 7 年	加藤 博靖	丸力耐火工業(株)
三十二	代理事長	平成 8 年	加藤 博史	(株)加藤材木店
三十三	代理事長	平成 9 年	木村 典彦	丸八製材(株)
三十四	代理事長	平成 10 年	川村 慎二	川村工務店
三十五	代理事長	平成 11 年	岡村 英治	岡村司法書士事務所
三十六	代理事長	平成 12 年	小木曾康裕	カネイ産業(株)
三十七	代理事長	平成 13 年	藤本 勝彦	(有)藤本商店
三十八	代理事長	平成 14 年	西尾 健志	(有)山栄
三十九	代理事長	平成 15 年	堀井 宣良	岩村城址観光(株)岩村山荘
四十	代理事長	平成 16 年	成瀬 一	(有)成瀬電気商会
四十一	代理事長	平成 17 年	佐々木淳二	榘五寒天商会
四十二	代理事長	平成 18 年	成瀬 泰久	(有)高木クレー研究所